

## 新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

政策局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値	
I 「稼げるまち」の実現															
メガリージョンの視点による近隣市町との連携	1	メガリージョン推進事業	「稼げるまち」の実現に向け、メガリージョンの視点で、北部九州地域の一体的な発展を目指すため、連携中枢都市圏や下関市をはじめとする自治体間の連携を推進する。	政策課	北九州都市圏域内の宿泊者数	R1	2,338千人	—	R8.4月公表予定	関門エリアの観光消費額の増加(北九州市観光動態調査:毎年)	R3	646.8億円	R10年度までの目標:2657.4億円	単年度目標設定なし	13,039
若者のチャレンジ支援	2	シン・ジダイ創造事業(若者のチャレンジ応援)	若者の自由な発想や提案を引き出し、それらを実現させるための伴走支援等に取り組み、地域一体で「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指すことで、若者の価値観や社会情勢の変化に対応し続けられる持続可能なまちづくりを進める。	Z世代課	北九州市の最近のイメージで「活躍する若者をよく目にするようになった」と答えた人の割合(市民意識調査:毎年度)	R6	8.6%	—	R6年度比増加						40,000
女性のキャリア形成支援	3	Woman's CHOICE推進事業	女性のキャリア実現、健康支援を目的として、父親の短時間勤務の推進やフェムテックの導入・活用に官民連携して取り組む。また、女性が、つながりや思いを共有・発信できる場の創出として、オンラインコミュニティを構築する。	Woman Will推進室	社会全体における男女平等達成感(北九州市の男女共同参画社会に関する調査:5年毎)	R4	10.7%	R9年度までの目標:15.0%	単年度目標設定なし						15,000

## 新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

政策局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		指標名	基準年度	基準値	中期目標	
女性が働き続けることができる就労環境の整備の支援	4	ワーク・ライフ・バランス推進事業	多様な働き方や暮らし方を選択でき、活力ある豊かな社会の実現を目指して、企業等の取組の支援や、広報・啓発などワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図る。 また、「働きやすいまち北九州」の実現を目指し、北九州イクボス同盟の拡大や取組支援等を行う。	Woman Will推進室	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」が取れれていると思う人の割合（「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」点検・評価に伴う市民アンケート：毎年度）	R6	62.8%	—	R6年度比増加						5,925
戦略的国際連携の推進	5	海外プロモーション促進事業	既存の姉妹友好都市との交流や、新たな国・地域との関係性の構築を推進し、北九州市のポテンシャルを生かした更なるプロモーションにより北九州市のプレゼンス向上を図り、海外の活力を取り込むことで、北九州市の経済成長につなげる。	国際政策課	姉妹友好都市以外の都市や地域との連携基盤構築	—	—	—	1つ以上						18,875
II 「彩りあるまち」の実現															
DXによる市民サービス向上	6	スマらく区役所サービスプロジェクト	行政手続きにかかる時間をできる限り短縮し、快適・便利な行政サービスを提供するため、手続きのオンライン化促進など、デジタル技術を活用した新たな窓口サービスの構築をフロントヤードからバックヤードまで総合的に進める。	DX・AI戦略室	集約する窓口業務に従事している職員の作業時間の削減	—	—	R9年度までの目標：対象業務の窓口職員作業時間 ▲50.0%	単年度目標設定なし						446,630

## 新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和8年度)

政策局

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					予算額(千円)
					指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値		指標名	基準年度	基準値	中期目標	R8目標値
都市ブランドの確立（ポジティブな情報発信による北九州市のイメージアップ）	7	すこやかな共生社会構築事業	北九州国際交流協会に「（仮）多文化地域コーディネーター」を配置し、日本人・外国人の双方に訪問・ヒアリングすることで、地域や外国人市民が抱えるニーズ等を把握し、顔の見える関係性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運営などを通じて、すこやかな共生社会の構築を目指す。	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R5	59.5%	R10年度までの目標：63.0%	单年度目標設定なし	「暮らしがやすい」と回答した人の割合（外国人市民アンケート：5年毎）	R5	72.4%	R10年度までの目標：80.0%	单年度目標設定なし	91,040
北九州市立大学における地域や社会の未来を担う人材育成の支援	8	次世代デジタル人材育成支援事業	北九州市立大学新学部（（仮称）情報イノベーション学部）の整備にあたって、整備費用の一部を市が支援する。	総務課	新学部棟建設工事の進捗	R7	0.0%	R9年度までの目標：100.0%	单年度目標設定なし	「暮らしがやすい」と回答した人の割合（外国人市民アンケート：5年毎）	R5	72.4%	R10年度までの目標：80.0%	单年度目標設定なし	1,116,000
III 「安らぐまち」の実現															
外国人との共生社会の実現に向けた環境整備	9	すこやかな共生社会構築事業	北九州国際交流協会に「（仮）多文化地域コーディネーター」を配置し、日本人・外国人の双方に訪問・ヒアリングすることで、地域や外国人市民が抱えるニーズ等を把握し、顔の見える関係性づくりにつなげる。また、外国人相談窓口の運営などを通じて、すこやかな共生社会の構築を目指す。	国際政策課	市民の「多文化共生」という言葉の認知度（行政評価市民アンケート：毎年度）	R5	59.5%	R10年度までの目標：63.0%	单年度目標設定なし	「暮らしがやすい」と回答した人の割合（外国人市民アンケート：5年毎）	R5	72.4%	R10年度までの目標：80.0%	单年度目標設定なし	91,040